

■ 特集Ⅰ

美しく生きるために  
健康科学総合特論座談会

■ 特集Ⅱ

徳知美の新展開

■ シリーズ VOICE

■ シリーズ 私の先生・私の教え子

■ 畿央大学での催し物のお知らせ



冬木学園60周年記念モニュメント

## Persona —研鑽の美—

建学の精神である「徳をのぼす 知をみかく 美をつくる」を大和三山になぞらえて三石を配置し、中心に人をイメージする形を表現。学生たちが建学の精神を身につけながら人として成長していく様子を、作品下部の割れたごつごつとした岩肌から、徐々に磨かれ美しく光る上部へと現わしている。上部のサークル状の部分は人の腕でつくる輪をイメージしており、人と人との美しい繋がりも意味している。





## ◆「美しく生きる」とは

**森岡** 今日皆様からご意見を頂戴しながら、本科目の持つ「意味」を探って行きたいと思えます。私自身も「美しく生きる」ということについて明確な答えを持っていませんが、先生方の考えをお聞きしたいと思えます。

**金子** 私は我々の人体を含めて「生体」は非常に美しく作られている、美しく生きていますと考えています。どのように美しいかといいますと、「内部環境」は外の環境が変わっても恒常性を発揮して一定に保たれている、たとえば気温が変わっても体温は37度くらいで維持されていますし、すっぱいものを食べても人間の体液はpH7.35くらいに保たれる。生体を機能させるために、実に上手く作られている。「美しく生きるための健康科学総合特論」を通じて、生物は非常に美しく作られて



座談会

# 「美しく生きるための健康科学総合特論」

畿央大学大学院修士課程の必修科目として「美しく生きるための健康科学総合特論」を開設しています。オムニバスの、この授業をご担当頂いている先生方にお集まりいただき、「美しく生きる」の意味、そしてこの科目をご担当される意気込みを語って頂きました。

いるという認識を持ってもらいたいと思っています。

**森** 大学院設置の際に、「美しく生きるための健康科学総合特論」の科目を一種の精神的バックボーンとして置こうと考えました。私の専門分野からすれば「美しい」と言うのは、食事・食べ物を基本にして心身ともに健やかに活動するのがハッピーだと感じますし、そんな状態を意味していると思っています。私自身も美しく生きたいし、大学院の授業として行うということは受講生たちにそれを引き継いでもらいたい。引き継いでもらうためには、我々の「想い」を伝えないといけない。そこで健康科学を構成する専門分野の先生方にそれぞれ分担して講義をしていただきたいと思った次第です。

私は健康や「美しく生きる」ことに関して、食べ物かなりのウエイトを占めると思っています。具体的にどんな内容が関わるかと言うと、食べ物には3つの役割がありま

す。1つは「生きるために必要な栄養を摂る」。もう1つは「おいしく楽しく食べられる品質を備えていること」、3つ目はいわゆる「健康」です。生活習慣病の予防やメタボ対策など、食べ物と健康は非常に関わりが深いのです。メタボ対策になると、モロに美しさにも関わってきます。また、食べ物には社会性も備わっています。「安全・安心」の問題ですね。社会性に関わる付加価値が備わっていることも伝えるようにしています。

**森岡** 精神的バックボーンという言葉を使いました。「美しさ」はつい外面にとらわれがちですが、内面や精神ありきで、そこから外に拡大していきます。外に拡大したら、誰かがそれを継承してまた内面を磨き、また外に拡大していくという連鎖が、人間の生活を豊かにしてきたのではないかと思います。外を意識する前に、内面を鍛えるというのが大切なのではないのでしょうか。



人間環境デザイン学科教授  
健康科学研究科教授  
藤井 豊史

の一番近くにあるのは「衣」だし、その周りに補うべき「住環境」があり、さらに「自然環境」があると思います。それを備えているのが人間です。

「生き活きと生きる」というのは、人間に与えられている能力を使って環境を整えるという技術力を使って生きているということです。

「生き活きと生きる」という話をすると、理学療法士として仕事をしている院生の方からは、単にリハビリをするのではなく、別のサポートの方法もあるかもしれないという感想が寄せられたりします。今年ももう少し具体的に方法論の方向にも力を入れたということで、環境学分野では建物などのハード面の担当として藤井先生に参加していただくことになりました。

**藤井** 私は正直この科目名に、非常に困っています。「美しく生きる」と言われても、私自身が「美しく生きている」のか疑問ですし、学生に何か創らせるとしても、彼らが美しく生きていること、美しい物を創ることは直接関係の無い事です。ましてや科目名の後半は「健康科学」と繋がります。学部にも同じ名前が付いているので言いくいのですが、私が健康を考えているかといわれると正直そうではない。それに建築は、科学の側面を持つてはいますが、発生としては芸術や個性性の側からはじまっていて、普遍性を求める「科学」はそれを成立させるための道具であるというのが基本的なスタンスかなという気がします。

人間はそもそも二命名法での学名で言えば、ホモ・サピエンスで「知恵ある人」と表現されます。道具を作る人という言い方もありますが、人間という「知」を持った生き物は、「知」を持って技術力を磨き、環境を整えて自らの生きる場所を切り開き、今では宇宙にまで行ける時代になりました。その「環境を整える」という部分の一番基本にあるのは「快き」「肌感覚」という部分だと思っています。「肌感覚」を作っている

特論」という科目名で、一体私が何を話したら良いのだろうと2〜3人の方にうかがった所、「あなたはあなたの守備範囲で勝手に話さない」という答えをいただきました。ちょっと安心していきます(笑)。

### ◆「美」を学ぶ

**森岡** 白石先生、「学び」をプロセスとして捉えていく上で、本科目の位置づけについていかがでしょうか。

**白石** 私は建学の精神の「徳知美」というのは、教育の真髄だと思っています。「徳」があつて、「知」があつて、最後に総まとめ、究極の創造として「美」があるのかなと思います。この授業で何をお話するのか迷っていたのですが、「人はなぜ学ぶのか」というテーマで話をしようと考えています。そして、学びの意味として3つのことを取り上げようと思っています。1つは「生きるための知識を学ぶ」という、手段としての教育・学びというものがある。「学ぶ」ということ自体が美しいことです。2つ目は「真理の探求」です。私は自然科学的な「美」はわからないのですが、社会的には「美」とは「調和」だと思っています。社会が調和している、人間が調和していることが「美」と思います。「真理」というのは、核になる部分は単純です。そうしたことを敬虔な気持ちで「学ぶ」というのは、本当に意味があることです。最後は「美を学ぶ」です。この「美を学ぶ」にはいろいろな意味があるわけですが、1つには知恵を学ぶ、知識の正しい活用法を学ぶということです。蓄えてきた知識を、人のため、自分のために正しく活用するということです。人は今あることに満

足するのではなくて、もっと自分自身を高めようという意欲を持っている。まさに学びとは「Learning to be」です。こうしたこと自体が「美」と思います。畿央大学の大学院は理系ですが、大学院生にこうしたことを伝えたいと思っています。

**森岡** 社会全体をシステムとしてとらえると、様々な物があつて、そして人がいて、それらは凸凹しているけど調和がとれているというのは、社会を考える上では大事なことだと思います。しかし調和が取れすぎてしまっても何も動かなくなつて、何も生み出されなくなつてしまいます。人はどこかで乱されると解決を考え、知恵を磨いてきたんだと思います。調和は僕らが心安らかに生きていくためにとても大切だと思いますが、完全に調和がとれてしまうと、志向性が生み出されなくなつてしまいます。絶妙のバランスで何か問題が発生したり、事件が起こることで、人間が知恵を磨き何かを生み出して、また調和をとろうとするのが生きるといふことに関する「美」なのかなと思つたりもしたのですが…。

**金子** 森岡先生の言われた「調和を復元する」という力が人間をはじめとする生物の身体の中にはじめから備わっている、それは素晴らしい仕掛けなんだということをまず知つても

らいたい。私の専門の「生理学」で考えると、ひとつの個体の中でも調和の復元が行われているわけですが、もっと広い視野で見ると人間同士がお互いに干渉（インタラクション）して社会ができていく、人間と自然の干渉が起こつて、よりよい生活が生まれていくということになります。この健康科学総合特論の授業にもいろんな切り口があつて、その捉え方を専門の違つた先生方から指導していただく。そこに意味があるように思えます。

### ✦ 教養科目としての健康科学総合特論

**森岡** 「美しさ」ということについてご意見を頂いてきましたが、畿央大学大学院にこの科目を置く意味合いについての意見を頂きたいと思えます。

**森** 私はこの科目は「精神的バックボーン」と言いましたが、もうひとつ「教養を身につける」ための科目だとも思っています。大学院の科目としてスタートしていますが、もしかしら教養課程が無くなつて後の工夫として、学部はこの科目を置く

というのがあつてもいいのかなと思います。教養課程の科目だと思つたら、もう少し何を喋つたらいいのかわかを気楽に考えられるように思えます。

**森岡** 「実学」を急ぐ余り本質が見えなくなつてしまふというか、学



人間環境デザイン学科教授  
健康科学研究科教授

佐藤 昌子

生は教養課程を嫌つて、すぐ身に付くものを求めてしまふところがあります。結果、後にさまざまな部分で社会的に響いてくるというのもありますね。イギリスなんかでは「ギャップ・イヤー」とかいつて、1年間好きなことをしてそれから大学に行くという。「ゆとり」というのか、自分をみつめるといふか、本来大学にもそんな余裕があるべきだと思うのですが…。

**藤井** 建築でもまったく同じで、学生に聞くと「建築家になりたい」というのは1人もいなくて、「建築士資格を取りたい」というわけです。彼らは高校時代から資格取得のため、就職のための教育をひたすら受けてきている。「建築」というあまりにも広大な世界を教えるのに学部だけで何とかなるのかというジレンマを感じています。

**白石** 社会に出てからはじめて理解できるというのもあると思います。看護師さんなど、社会人の方に対して一般教養の話をするとき非常に反応がいいんですね。自分自身の専門や経験と結びつけて考えられるからでしょう。教養課程とは、大学時代にはワケが分からなくてもいいから教え込めば、将来意味がわかるという二段構えの構造でよいのではないかと思います。「教養を身に付けた人



理学療法学科教授  
健康科学研究科教授 研究科主任

森岡 周



健康栄養学科教授  
健康科学研究科教授

森 友彦

を育てる」というのが、教育の最終目標かもしれません。

**森岡** ワケが分からなくてもいいから教えるというのは、大学教育の根本かもしれないのであって、そこを追求していくところから研究が生まれるわけですからね。話が教養の方に流れてしまいました。話が教養の方に付けている人というのが、美しさが表れている人ということになるのかもしれない。

### 「快適性」と「美」との関係

**白石** 先ほど「調和」という話が出ましたが、社会現象というのは弁証法だと思っただけです。法則が美しい。社会というのはこういう形になっている、というのが「美」かなと。科学的に言えば人間が協力し合う部分に美しさがあるとも思うのです。

**佐藤** 先ほど藤井先生が「建築は科学か」で悩んでいると仰っていました。私は科学でも物理化学から出発して色彩学に来た者です。染色や洗浄などの界面科学、実験系でやってきました。科学の手法として正しく現象を把握し、結果を出すための常法は、まず、サンプルを精製してピュアにし、サンプル間の組み合わせによって出てくる反応や現象を機

器分析するということをやってきました。しかし色彩学になると人間が主人公になるんです。色は人間に見えて初めて色になるわけですから。人間って何だろうとか、人間ほど不思議なものはないとか言います。界面科学から色彩学に向転換した時に心理学を入れた科学の論文を書いたんです。すると「それ、科学ですか？」「ヒトの心理なんてあまいじゃないですか」と界面科学の先輩から言われました。

計量心理学とか統計学とかを使って心の動きを科学的に計ったり、近年では、脳科学を使って心理学的なデータを作れるようになりました。私は「美しく生きる」とは「人間学」そのものであると思います。人間が主人公になって、色彩の方面から快適性を考えるということに取り組みたいと思っています。

**藤井** 「快適」という言葉は、科学的、心理学的に分析することも可能だと思いますが、ここに果たして「美」という言葉がなじむかどうかは難しく、建築やアートの分野でも意図的に100人中99人が不快に思うものをデザインしてここに置く。置くことによる感情的波及効果を期待する芸術的手法ですね。これを科学的に「美である」「美でない」と判断することができるかどうか。「美」は、あくまで個人的感覚から逃れ得ない部分を持っているのではないかと思います。

**森岡** 快・不快は生物的に持っているもので、快適になるために知恵を磨いてきたというのはいわゆる「美」に関しては99%が不快でも1%は快である場合によって生まれる場合もあります。「美」でいえば、建築家の故・荒川修作さんの話を聞いたことがあるのですが、「ベッドからトイレまでジャングルジムを作れ」とか言うんです。バリアフリーが人の意識に良くないってことで。人間は楽しく生きること、快適さを求める場合と、何らかの苦勞をすることに對しての心地よさもあり、逆を突くということですね。

**金子** 生理学的、脳科学的に冷めた言い方をすると、人間はいろんな困難にぶつかって、それを解決できた時に脳の中の報酬系が働きます。脳の中でモルヒネ様物質が出てくる。それを繰り返すと非常に快になっていく。研究によって成功の快を味わうと、研究できないような立場になると禁断現象みたいなものが出てくる。人間はやっぱり生きていく中で刺激を受けて解決していくことが、人間が人間らしく生きていくということなのかなと思うんです。

**森岡** 生涯学習の考え方をどう持つかが大それたと思います。資格取得優先といった、ただ単に学ぶではなく、自分が何かを求めていく、欲求があ



教育学部長  
白石 裕

## 美しく生きるための健康科学総合特論 シラバス

### 〔授業の到達目標〕

本学の建学の精神である「徳をのぼす」「知をみかく」「美をつくる」の意味を自らの実生活に置き換えて理解し、健康な生活とは何かを考察することができる。また、健康科学を深く理解し、自らもその研究に参加して当該領域の発展に寄与する基礎を作る。

### 〔授業内容〕

#### ■総論

#### 〔森岡 周 / 3回〕

本修士課程における今後のスケジュール、研究の草案・計画・実行に関するプロセス、文献検索、データ採取・解析、考察といった論文執筆手続きについて、例を挙げながら概説し、大学院生活が美しくスタートできるよう援助する。

#### 〔金子 章道 / 3回〕

健康科学が直面するさまざまな問題点を理解させ、それらの問題にどのように取り組むべきかを事例に沿って解説する。また、その方法や成果の報告に関する留意事項についても概説する。

#### 〔白石 裕 / 3回〕

自己実現に学習が重要な役割を果たし、学びそのものが生き甲斐になることから、ライフデザインにおける生涯学習の意味を追究しなければならず、人生各段階における学習のあり方について考察する。

#### ■各論

#### 〔森岡 周 / 2回〕

身体運動は人間の生活において欠かせないものである。身体運動の視点から、脳と身体の健康に関して、特に脳の老化とメタボリックシンドロームを取り上げ、その科学的知見を概説する。

#### 〔森 友彦 / 2回〕

食は健康の基本であるとともに人間活動や生活の質に密接に関係している。このような食の役割について、食品の側および食品を摂取する人の側からそれぞれ物質レベルの要因論および生体機能の調節制御レベルの要因論の観点に立てて概説し、ついで、食の健康科学に関する方法論・研究手法について概説する。

#### 〔佐藤昌子・藤井豊史 / 2回〕

ヒトを取り巻く環境の物理的要因、生理・心理的要因をとりあげ、生活の質を維持、向上させるためのライフデザインについて解説し、その方法論について述べる。

## 2009年度受講生の授業アンケート結果

「美しく生きるための健康科学総合特論」を受講した院生たちのアンケート結果によると、そのほとんどが「自分にとって得るものがあった」「全体として満足した」と答えています。

### 〔コメントより〕

- ・日頃あまり触れることない分野の先生方の講義を聴くことができたので、大変有意義であったと思います。
- ・専門外の知識を得ることができ、それにより自分の研究テーマのヒントにつながりました。
- ・普段自分が学ぶ機会のない内容に関しても講義がきけて良かったように思う。
- ・健康を科学するため、多角的な視点を示して頂ける講義であると思った。
- ・詳しく教えて頂いたので分かりやすく大変参考になりました。



健康科学部長  
健康科学研究科教授 研究科長

### 金子 章道

「美」を求めたいもの、より良いものを求めるのは人間の本能ではないかと思えます。自分ですべてはできません。音楽会に行ったり、絵画を見たり、スポーツで速く走る人を見て感動する。おそらくサイエンスにおいても同じで、新しいことを学んで感動す

## 美しいものを 求めるのが人間の本能

るから学ぶということが大切です。

白石 社会科学では「美」をひとつに特定するというのはいけません。多分に主観が入ってしまいますから。極端に言えば自分が美しいと思っていればそれでいい。ジョン・スチュ

### 金子

私にも美しいもの、より良いものを求めるのは人間の本能ではないかと思えます。自分ですべてはできません。音楽会に行ったり、絵画を見たり、スポーツで速く走る人を見て感動する。おそらくサイエンスにおいても同じで、新しいことを学んで感動す

る。自分もその一端をやりたいなど思う。「美しく生きるための健康科学総合特論」では、人間の本能を呼び覚まして、例題を示していくというのではないのでしょうか。

### 藤井

まったく同感です。その本能の低下がはなはだしいので、それを何とかするのが課題かもしれません。

### 森岡

今日の座談会で共通認識ができた部分もあれば、お話を受けて自分の教育や学びに生かす部分もあったかと思えます。またいつか、哲学的な志向も含めて続きをしていきたいなと思えます。

### 金子

大学はサロンの側面もありますからね。

森岡 今日本当はありがとうございます。

## 理学療法士にとっての「徳、知、美」

畿央大学では、4月6日・7日に新入生を対象にした宿泊研修を実施しました。その中で、健康科学部理学療法学科は、初めて「建学の精神」を真正面から学ぶことに取り組みました。卒業生、4回生を迎えての取り組みのねらいや参加学生の反応について、学科長の庄本康治先生に伺いました。

今年は、「理学療法士にとっての徳、知、美とは」というテーマで宿泊研修を実施しました。

昨今は、雨後の筍の如く理学療法士養成校が増え、理学療法士不足どころか、供給過剰状態となっています。また理学療法士の活動のフィールドである医療福祉業界は、この間の不況の影響を受けて大変厳しい状況にあります。

そうした厳しい環境の下であっても、本学の卒業生が成長し続け、現場で力を発揮してくれるなら、医療の現場や理学療法士業界の中で、本学の理学療法学科が評価されることは間違いありません。そのことでさらに本学科のレベルアップがはかれるなら、今後の理学療法士の道を切り開くことができるような人材を輩出しているはずで、私たちは、そうした良い循環を作り出したいと考えています。

さて、様々な理学療法士たちを見てみますと、卒業後、数年間は頑張ることができているのですが、しばらくすると努力することを止めてしまい、対象者のためを思って汗をかくという姿勢を失う人が多いようです。このようなことは他の業界にも見られ、理学療法士に特異なことではないと思います。ひたすら努力し続ける理学療法士がいる一方、途中で努力を止めてしまう理学療法士がいるのは何故なのでしょう？

この要因の一つに理学療法士としての「徳、知、美」を身につけることができているかどうかが大きく関与していると私は考えています。中でも「徳」と「美」が、大きな影響を与えているように思います。

本理学療法学科は、卒業時に学生が高いレベルに到達することを目標の一つにしていますが、同時に卒業後もずっと切磋琢磨し続けることができる理学療法士として送り出したいと考えています。そのためには卒業までに基礎工事、



庄本学科長による挨拶

種まきをしっかりとしなければいけないと思い、理学療法士と「徳、知、美」との関連性について深く考える機会をつくる必要性があると考えていました。

今回の宿泊研修では、社会人4年目を迎える1期生の卒業生と、宿泊研修直前に3週間の臨床評価実習に参加した4回生に、理学療法士と「徳、知、美」について彼らなりの考え方を話してもらいました。それを参考にして新入生自身にも「徳、知、美」について議論させ、それをまとめた内容と、これからの4年間をどう過ごすのかについても発表してもらいました。

特に卒業生の話は新入生にとっては考えたこともない内容であり、強烈な印象を与えたようです。たとえば、同期入職の理学療法士が徐々にやる気を失っていく姿を見た事、日々の忙しさの中で自分に対する甘えが発生する事、対象者に対して優しく接することが出来ない場面が時々あるという報告もありました。また、4回生の発表では、自分がまだ何も出来ないことに對するもどかしさを強く感じたこと、対象者から感謝されたときは嬉しさと同時に、強い責任



新入生のグループワークと発表



1期生の発表のスライドより

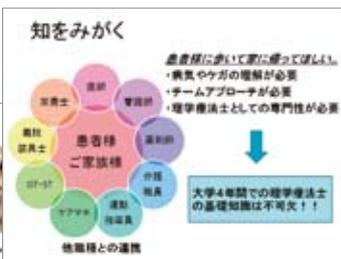
**徳をのばす**

私たち理学療法士が競争に勝つのは、

- ・ケガや疾患を抱えている方
- ・不安や不満を抱えている方
- ・自分より遥かに人生経験のある方

↓

信頼関係を築く上で、自分自身の徳が試されます！



感や不安感が生じたこと、病院の実習指導者との人間関係構築の困難さなどが報告されました。また理学療法学科が第一志望ではなくて何となく入学したが、今となっては自分の進路について全く迷いがなくなつたこと、そんな心境の変化などについても語ってくれました。

自分が描いていた理学療法士のイメージとの違いを感じている新入生もいましたが、話を聞いて、理学療法士という将来像に対してのあこがれや希望が強くなつたという学生がほとんどでした。また、理学療法士の資格を取得した後は全く勉強しないでよいと考えていた新入生も少なからずいて、我々にとつても新たな認識の深まりがありました。

新入生からは「徳、知、美」について様々な角度からの意見が出されましたが、単に勉強する、知を磨くだけでは不十分であり、人として成長していくことが大切であることを語る学生が多くいました。また日々努力していくために、やる気を維持することの重要性、コミュニケーション能力の必要性、そのための具体的改善策

が、まだまだ未熟ながらも発表されました。自分の幸せと仕事についての関係を考察していた学生もいましたが、このようなことについて考えたのは、多くの学生にとつて初めての経験であつたかと思えます。

今回の宿泊研修での取り組みを振り返って、今後も様々な形で、建学の精神「徳をのばす、知をみかく、美をつくる」を学科の学びに有機的に結び付け、学生の全人的な成長につなげていきたいものだと強く感じています。

我々教員も、理学療法士と「徳、知、美」との関係の日頃から意識し、具体的に講義や研修に取り入れ、卒業後も引き続き努力し、成長できる基礎体力のある理学療法士を輩出したいと考えています。そのためには、教員自らが凛々と、光り輝いていなければいけません。

建学の精神は大変素晴らしい内容ですが、この精神を日々実行しているのかと問われると、私自身も自信がありません。今こそ、建学の精神を日常の自分に反映させるべき時、実行に移すべき時であると感じています。

## 建学の精神をカタチに変える キャンベラ奈良公園彫刻コンクール最優秀賞

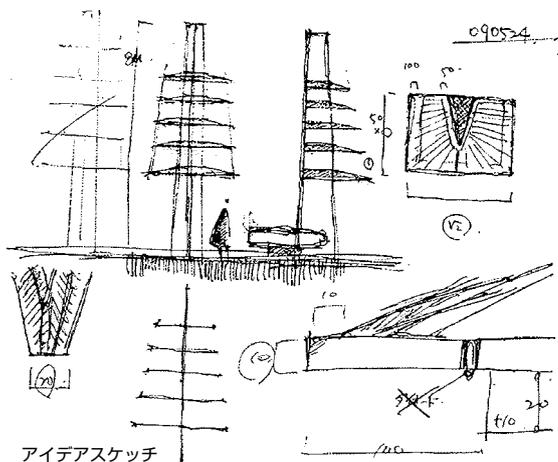
冬木智子理事長がつくられた建学の精神「徳をのぼす」「知をみがく」「美をつくる」という言葉はあらゆるものを包含するものだと思います。少し大袈裟に言えば、海を越えて遠くオーストラリア・キャンベラ市民にも伝わったのではないかと考えています。

これまでの経緯を説明しますと、昨年3月キャンベラ奈良公園彫刻コンクールが開催され奈良市での一次審査の結果、5人のコンクール出品者が決定しました。私は運よくそのメンバーに選ばれたのです。8月末に模型とドローイングを提出し、一〇月にキャンベラにおいて最終審査が行われました。厳正なる審査の結果、信じられないことですが、今年一月最優秀に選ばれたのです。

彫刻に与えられたテーマは「キャンベラ市と奈良市の友好関係と相互理解及び両都市の長年にわたる姉妹都市関係」でした。私は彫刻のコンセプトを「徳」と設定しました。「徳をのぼす」とは、人の悩みや痛みを思いやる心を持つこと、と理事長はおっしゃいました。とりわけこの言葉に感銘を受けていた私は、何のためにもなく「徳」を基本の考えにしたのです。

もうひとつ、奈良という環境を表現したいという希望がありました。一四〇〇余年も前に聖徳太子が建立した法隆寺は、世界最古の木造建築であり、日本最初の世界遺産です。法隆寺伽藍の中に入ると、左側に五重塔、右側に金堂が建ち、アシンメトリーの美をかもし出しています。この建築美をシンボライズしたカタチができませんいものかとデザインが浮かんできました。五重塔をキャンベラ、金堂を奈良に見立てることでデザインが始まりました。

理事長は、なぜという問いかけを繰り返して研究する探究心が「知をみがく」ことであるとわかりやすく説明されました。本学人間環境デザイン学科の中山順先生は「知」はものづくりができる技術だと指摘されました(カトレア



アイデアスケッチ

畿央大学健康科学部  
人間環境デザイン学科准教授  
加藤 信喜



## モニュメント「徳」 CANBERRA NARA PEACE PARK SCULPTURE COMPETION



モニュメント「徳」正面より

vol.18)。素材に関しては、五重塔を  
錆仕上げ鉄板でつくり、金堂の方は地元でとれ  
た飛鳥石を使う予定です。提案した模型制作に  
あたり、それぞれのプロが技術を尽くして協力  
して下さいました。この場をお借りして、マツ  
イコーポレーション・松井健様と石昭石材店・  
杉田勝也様そしてゲンデデザインプロ・原英雄様  
に感謝の意を表します。ありがとうございます。

再び理事長の言葉をお借りしますと、「美」を  
創造することを通じて楽しく潤いのある人生を  
送り、人の世を幸せなものにしていくという事  
がとても大切なことであると言われました。し  
かし正直に言いますと「美」を追求していくこ  
とはもっとも困難なことだと感じております。  
私のモニュメント「徳」が美を追求できたのか  
どうか、少しでも美に近づけたのかどうか、は  
なはだ自信がありません。

高さ8メートルのモニュメント「徳」は、今秋  
キャンベラの地に完成します。それまでに「美を  
つくる」という難問を解決できるよう、もう一度  
「建学の精神」と向き合おうと思っております。



モニュメント「徳」鳥瞰



ドローイング

冬木学園を支えてくださるみなさんからのメッセージをご紹介します。



## 将来を左右する 高校生活



はま  
る  
留杏 さん

関西外国語大学 外国語学部 英米語学科  
関西中央高等学校 2009年卒業

私は、高校生活の3年間を勉強と部活に費やしました。部活動はバトントワリング部に所属していました。朝から夕方まで勉強、夕方から夜にかけては部活という毎日、自分の時間もなかなか持てず辛いと感じたこともあります。でも、応援してくださる先生方、友達、部員と自分の夢を目指して頑張りました。おかげで、勉強が上手く進まない時は部活で気晴らし、部活が上手くいかない時は勉強に集中、というバランスの取り方も身に付けることができ、辛さの中にも楽しさを見出すことが徐々にできていきました。この経験を生かし、今は毎日、大学で好きな英語の勉強をしながら、尊敬する先輩方とチャリデーニングに取り組み、充実した毎日を送れています。大学生活や将来を左右する貴重な高校生活で、時間活用を有効にできたからこそ、今の私があると思っています。



## 子ども達とともに



松本 理香 さん

大阪府富田林市立向陽台小学校勤務  
畿央大学 教育学部 現代教育学科  
2010年卒業

私は畿央大学を3月に卒業し、4月から富田林市立向陽台小学校で、2年生の担任をしています。向陽台小学校は、教室に壁がない、いわゆるオープン教室で、またチャイムが鳴りません。はじめはとても戸惑いました。初めての環境の中で担任をし、声が届かなかったり、うまく授業を進めることができなかつたりなど、悔しい思いもたくさんあります。でも、子ども達の「キラキラ」とした笑顔を見ることができた時、授業楽しかったよという言葉を聞けた時など、教員になったことの喜びを感じます。子ども達は、一生懸命私の言葉を聴き、私の思いを受け止めてくれます。小学校教員となって、一か月半ほどしかたっていませんが、子ども達の多様な可能性に触れ、ともに成長していけることを実感しています。大学での授業や活動は、今とても役に立っています。授業一つ一つの学びや、ボランティア活動での経験は、実際に子どもの前に立ち、指導する立場としての自分の力になっています。これからもこの経験を生かし、さまざまな経験をして、子ども達と一緒に笑顔の溢れる楽しい学級を作っていきたいです。

## リハビリの世界を変える 人材の育成を

西大和リハビリテーション病院  
リハビリテーション部 技師長

椰野 浩司 さん



リハビリテーションとは、病  
気やケガによって障がいを受け  
た方が、今まで行ってきた生活  
の営みを行えなくなった場合、  
その方のもてる機能を最大限に  
引き出し、今までと同じレベル  
の生活に戻るよう働きかける  
ことです。

当院のリハビリテーション部  
には理学療法士が21名在籍して  
おり、そのうち6名が畿央大学  
出身です。畿央大学出身者の共  
通点は、患者さんに一生懸命で  
あることです。責任感が強く、  
患者さんの為には努力を惜しま  
ない姿勢はさすがしく、頼も  
しく思います。患者さんもち  
ろん、他のスタッフや仕事に対  
しても常に真摯な姿勢で取り組  
みます。

当院のリハビリテーション部  
には理学療法士が21名在籍して  
おり、そのうち6名が畿央大学  
出身です。畿央大学出身者の共  
通点は、患者さんに一生懸命で  
あることです。責任感が強く、  
患者さんの為には努力を惜しま  
ない姿勢はさすがしく、頼も  
しく思います。患者さんもち  
ろん、他のスタッフや仕事に対  
しても常に真摯な姿勢で取り組  
みます。

畿央大学には、エネルギーに  
満ちあふれ、リハビリテーショ  
ンの世界を大きく変えてしま  
うような若者の育成を期待して  
お



幼稚園大好き!!

安原 愛子 さん

畿央大学付属幼稚園  
さくら組園児 安原大翔 保護者

畿央大学付属幼稚園には、娘と息子がお世話になっ  
ております。子ども達が幼稚園に通いだしてから、毎年、  
目に見えて成長する姿をとて嬉しく思っております。  
今年はその息子が年長組になり、参観の日に「さくら  
組になって頑張りたいこと」をみんなの前に出て発表し  
てくれました。少し照れくさそうにしながらも前に出た  
息子、何を言うのかなと思っていました。それは「のぼ  
り棒の一番てっぺんまで登りたい!!」でした。その目標  
を持つてからまず幼稚園に行くのが楽しみになりま  
した。「昨日は半分まで登れてん!!」「今日は一番上まで  
いくぞ!!」と朝から意欲満々でお話してくれます。さく  
ら組のお友だち、一人ひとりの目標は違いましたが、先  
生はどの子の目標にもエールを送ってくれました。  
子供たち一人ひとりを尊重し、目標を持つて努力す  
ることを教え、それを意欲、やる気、に繋げてくださっ  
ている幼稚園に感謝しております。  
「幼稚園楽しい!! お友だち大好き!! 先生大好  
き!!」と毎日笑顔で幼稚園に通う息子を見るのが、私  
の楽しみです。

# 私の先生

## 私の教え子

冬木学園では、豊かな知識や優れた技術を教えるだけではなく、心を通わせ、人としての生き方を伝えていく教育をめざしています。冬木学園各校で学んだ、学んでいる教え子と教員との交換メッセージをご紹介します。

浅野 恭代 先生 「畿央大学健康科学部健康栄養学科 教授」

母のような優しさ



酒井 恵さん  
桜井女子短大1993年卒業  
食物栄養専攻 栄養士1級

先生は生徒の話を親身になって聞いてくださり、私が「専攻科に進むか？ 編入するか？」という相談をした時も親身になって聞いてくださいました。

約20年前、緊張しながら短大の入学式に行ったのを覚えています。そんな緊張の中、担任の先生が発表され、私が入った栄養士コースは浅野先生の名前が呼ばれました。

とても優しい雰囲気のある先生（本当に優しいのですが）をみて一気に緊張がほぐれたことを今でも覚えています。ある意味もう1人の母でしょうか？

卒業後も変わらず、優しい先生。私が病院の管理栄養士の仕事を辞め、フィットネスインストラクターとしての仕事を始めたときも反対せず、見守ってくださいました。

今はフリーインストラクターとしての仕事をしていますが、浅野先生のような、素敵な・優しい笑顔を見習ってレッスンしたり、お客様と接していかうと思っています。

## Comment

酒井さんは短大から4年制大学に編入し、管理栄養士の資格を取得されました。卒業後は病院へお勤めでしたが、運動の大切さを感じ、スポーツジムのインストラクターからスポーツ栄養の指導を始められました。その当時はまだスポーツ栄養の指導が一般の方にはなされていなかったため、試行錯誤をしながら確立されたと思います。今は後輩の指導にも活躍されています。酒井さんのように自分の信念に向かって、栄養士の活躍の場が新規開拓されることを期待しています。



庄本 康治 先生 「畿央大学健康科学部理学療法学科 学科長」

患者様と向き合って



徳田 光紀さん  
平成貳拾陸院勤務／理学療法士科2007年  
卒業 大学院博士後期課程在籍

理学療法士として働き出して、今年でもう4年目になりました。毎日患者様のごことで頭がいっぱいで、「どうすれば良くなってもらえるだろう」、「もっと良くなってもらうにはどうすれば良いだろう」と悩みながらも、充実した日々を過ごしています。

こうして一人ひとりの患者様と真剣に向き合って理学療法が出来るのは、庄本

先生との出会いがあったからだと思っています。在学中の講義では、患者様のために悩み、考え、妥協しない大切さを教えて頂きました。また臨床活動以外でも、将来の患者様のため、より質の高い理学療法のために必要な研究活動の重要性を教えて頂きました。そして何よりも、先生自身の理学療法に向き合う姿勢、理学療法に対する「熱さ」に感銘を受けました。

現在、そんな先生に大学院でもお世話になっていきます。これからも、先生の背中を追いかけながら、理学療法法の発展のために直往邁進していきたいと思っています。

## Comment

1回生時には担任をさせていただき、3回生からはゼミ生として、卒業後は大学院修士課程、博士後期課程と長い付き合いになっています。彼の魅力を一言で述べることはとても出来ませんが、理学療法士として高いレベルの徳、知、美を兼ね備えている反面、それに満足せずに切磋琢磨している所も大きな魅力の一つです。

今後も努力して、リハビリテーション医療の発展に貢献してほしいと思います。



## 松本浩一 先生「関西中央高校 理科担当・進路指導部」

夢に向かって学びます



島田 一孝 さん

関西中央高校2010年卒業  
ブルー学院大学国際文化学部1回生

将来の仕事で、英語力やパソコンの技術が求められると思い、国際文化学部英語学科で学んでいます。私は、大学入試で、自分自身のやる気を直接見てもらうことができるAO入試を選びました。私が、試験に向けて努力したことは、自分自身を表現するということです。しかし、私は自分から話すということが苦手です。そこで私は、英語が好きで、どうして英語を勉強したいと思うようになったかなどを素直にアピールすることになりました。自分の好きなこと

なら、進んで話せると思ったからです。

AO入試では、言葉で表現するだけでなく、文章で表現することも必要です。どちらも、うまく表現できなくて苦労しましたが、そんな時、助けて頂いたのが、先生方でした。特に、松本先生には、夏休みの間に作文の添削指導と面接の練習で大変お世話になりました。学校に行くと、いつも松本先生がおられて、とてもやさしく丁寧に、そして時には厳しく指導して頂きました。無事、合格できたのは、松本先生をはじめ応援してくださった先生方のおかげだと思います。

松本先生のお世話になった夏を忘れず、自分の夢の実現に頑張っていきたいと思っています。

## 山村安男 先生「畿央大学教職支援センター 特任講師」

私の支えとなったもの



宇野 拓治 さん

大阪府和泉市立緑ヶ丘小学校教諭  
教育学部現代教育学科2010年卒業

教師を目指して勉強を本格的に始めたのは3回生の2月ごろでした。

周囲からは、正直合格は難しいと言われていました。「自分には無理な目標なのかもしれない」「諦めて違う道を選ぶ方がいいのか」と悩む時期もありました。

しかし、山村先生が一生懸命私たちのために授業を開いてくれ、勉強の話だけでなく「学校現場ではこんなことがあるぞ！」

「こんな楽しいことがあるぞ！」と教師の魅力を伝え続けてくれました。このように親切に愛情を持っていつも接してくださいました。

その結果、大阪府と川崎市の採用試験に合格することができました。合格できた一番の理由は私の周りに熱心に支えてくれる人がいたことであり、自分一人の力だけではありません。これから教員採用試験に挑戦するみなさんも自分を支えてくれる人がいることを忘れずがんばってほしいと思います。

私自身も、山村先生のように、教育に対する情熱をいつまでも持ち続けたいと思います。

## Comment

畿央大学に赴任して、最初に出会ったのが、本年卒業した教育学部一期生であった。その一人に宇野君がいた。採用試験の対策授業では、いつも数人のグループにまじって教室の右最前列に座って受講していた。試験前に、いつも彼が自習室で勉強しながら、友人の世話をしている姿には感動させられることが多かった。人と人との出会いが人間を豊かにしてくれるという言葉があるように、彼の学びは、そのことを実践しているように思う。すばらしい教育者になるだろう。



## Comment

島田君は面談で、「英語が好きです。英語を勉強したいです。」と言いました。その言葉を現実のものにするために、数々のオープンキャンパスに参加し、大学とAO入試を決定して望んでくれました。一次は面接、二次・三次は英文による課題(日記・自己PR)など、夏休み返上で登校して何度も書き直して提出、見事に合格を勝ち取ってくれました。熱き思いを持って、よく努力した本当に暑い夏を過ごしましたね。自信を持って歩んでください。



## 12月

### 畿央大学

- 5日(土) 第8回畿央大学公開講座
- 6日(日) プレ・エントランスセミナー
- 6日(日) クリスマス会(畿友会主催)
- 11日(金) 冬のバッククッキング講習会
- 13日(日) 一般入試対策講座
- 18日(金) FEPホール企画『地球交響曲第一番』上映会
- 19日(土) 冬の学習キャンプ
- 20日(日)



冬の学習キャンプ

### 関西中央高等学校

- 1日(火) 美の日
- 11日(金) 3年生母校訪問
- 12日(土) 入試説明会
- 21日(月) 美化デー
- 23日(水) 入試対策説明会
- 24日(木)



美の日

### 畿央大学 付属幼稚園

- 3日(木) 交通安全人形劇
- 9日(水) 子ども成長・造形展
- 10日(木) おもちつき大会
- 11日(金) マラソン大会
- 14日(月) バイキング給食
- 15日(火) クリスマス会
- 24日(木) 2学期終業式



おもちつき大会



子ども成長・造形展

## 1月

- 16日(土) 大学入試センター試験
- 17日(日) 理学療法学科同窓会特別講演会
- 23日(土) 一般入試前期A日程
- 24日(日) 一般入試前期B日程
- 25日(月) 一般入試前期C日程
- 31日(日)



理学療法学科同窓会特別講演会

- 8日(金) GTEC(1、2年)
- 9日(土) 近畿高校ソフトテニスインドア大会
- 23日(土) 近畿選抜県予選(剣道)



近畿選抜県予選

- 8日(金) 3学期始業式
- 13日(水) 入園説明会
- 22日(金) 奈良県私立幼稚園作品展
- 23日(土)



奈良県私立幼稚園作品展

## 2月

- 7日(日) プレ・エントランスセミナー
- 20日(土) 人間環境デザイン学科卒業研究・作品展(ならまちセンター)
- 21日(日)



- 6日(土) 入学試験
- 7日(日) 3年ビジネススマナー
- 15日(火) 畿央大学コース生徒読み聞かせ実習
- 27日(土) 表彰、送別式、蘭友会入会式



- 1日(月) お作法参観
- 2日(火) 豆まき
- 4日(木) 保育参観(年少児・年中児)・お別れ参観(年長児)



# 3月

10日(水) 一般入試後期日程  
 23日(火) 卒業式・卒業パーティー  
 28日(日) オープンキャンパス  
 30日(火) 新入生ブレイスメント  
 スト・キャンパス歓迎会



卒業研究・作品展

1日(月) 卒業証書授与式  
 9日(火) 表現・情報コース生徒発表会  
 20日(土) 終業式、美化デー、入学説明会



織央大学コース読み聞かせ実習

6日(土) 創立30周年記念生活発表会  
 9日(火) バイキング給食  
 18日(木) 第31回卒園式  
 24日(水) 修了式



豆まき

# 4月

3日(土) 入学式  
 6日(火) 新入生宿泊研修  
 7日(水) ボランティアアビギナーズ  
 24日(土) フェア



卒業式

9日(金) 入学式  
 12日(月) 新入生歓迎会  
 16日(金) 1年生フレッシュマン  
 17日(土) トレーニングキャンプ  
 30日(金) スポーツフェスティバル  
 部活動激励会



表現・情報コース発表会

8日(木) 1学期始業式・進級式  
 12日(月) 第32回入園式  
 19日(月) 保育参観  
 21日(水) 新入園児歓迎会  
 26日(月) 防火映画を観る会(年長  
 児・年中児)



新入園児歓迎会

# 5月

15日(土) オープンキャンパス  
 20日(木) 冬木智子特別奨励賞授賞式



冬木智子特別奨励賞授賞式

18日(火) 校内朗読コンテスト



校内朗読コンテスト

7日(金) 保育参観  
 25日(火) Kioオープンガーデン  
 27日(木) 春の遠足(竹取公園)  
 ①(園庭開放)



いちご狩り

## ● 関西中央高等学校入試概要

課 程	全日制(普通科)(共学)	
募 集 人 員	畿央大学コース————(推薦)(一般専願・一般併願) 教育クラス・看護クラス 特別進学コース————(推薦)(一般専願・一般併願) Sクラス・Aクラス 表現・情報コース————(推薦)(一般専願・一般併願) スタンダードコース——(推薦)(一般専願・一般併願) アスリートコース————(推薦)(一般専願)	募集人員60名           募集人員140名
ファミリー入試制度	本学園の卒業生・在学生のご家族の方(本人含む)は、受験料・入学金を免除します。	
特 典	畿央大学コースには畿央大学教育学部と健康科学部看護医療学科への高大連携特別推薦制度があります。 その他のコースにも畿央大学内部推薦制度や、他大学・短期大学・専門学校への指定校推薦制度があります。	

## 関西中央高等学校の特色

2010年4月から従来の「特別進学コース」がクラスを分けて国公立をめざす五教科入試対応のSクラスと三教科入試対応のAクラスが発足しました。昨年からはじまった注目の「畿央大学コース」教育クラスと看護クラスによる、高校3年間のコース在籍と必要単位修得で、畿央大学教育学部現代教育学科および健康科学部看護医療学科に進学できるという7年一貫教育も順調に推移し、新2年生は畿央大学での授業が始まりました。また同じく昨年出発した「表現・情報コース」では、コミュニケーション能力を高めることを目的としたプロの演出家による『演劇表現』の授業に保護者の方から期待が寄せられています。関西中央高校では、実績のあるアスリートコース、きめ細かな指導で一人ひとりの能力を引き出すスタンダードコースも合わせて、今の時代に求められる高校教育に全力で取り組んでいます。

「徳をのばす・知をみがく・美をつくる」の建学の精神のもと、好奇心、探究心、創造性を持った自立と社会に貢献できる人材をしっかりと育成していきます。

## ● 畿央大学付属幼稚園募集要項

募集人員	3年保育(3歳児 満3歳児を含む)60名 2年保育(4歳児)若干名 1年保育(5歳児)若干名
受付期日	平成22年7月1日(木) 午前8時30分より、定員になり次第締切
出願方法	所定の入園願書に選考料3,000円を添えて提出してください。
入園許可	面接の上、入園許可を通知します。なお、面接の日時は願書受付後通知します。

### Kio オープンガーデン

付属幼稚園では園の紹介と子育て支援を目的に、Kioオープンガーデンを実施しています。就園前のお子様と一緒にお気軽にご参加ください。詳細については、直接園にお問い合わせください。

6月25日(金)	音楽の先生と楽器を使ったりしながら、リズム遊びをしましょう。
7月1日(木)	笹飾りを作りましょう。・願書受付
7月16日(金)	プールで水遊びをしましょう。
8月6日(金)	体育の先生と水遊びをしましょう。
8月20日(金)	みんなと一緒に遊びを楽しみましょう。

\*2学期以降の予定は、決定次第ホームページに掲載いたします。

### 保育時間

「預かり保育」を実施しています。(月～金曜日の午後6時まで)常勤の教員により「預かり保育」を行い、保護者の子育て負担の軽減と支援を行います。夏期休業中の特別預かり保育も実施しています。



## ● 2011年度 畿央大学入学試験概要

募集人員 (人)

学部	学科	定員	AO入試	公募推薦入試	一般入試	センター利用入試	社会人入試
健康科	理学療法	60	4	22	26	8	若干名
	看護医療	80	4	34	34	8	若干名
	健康栄養	70	4	31	29	6	若干名
	人間環境デザイン	45	3	19	18	5	若干名
教育	現代教育	145	7	66	59	13	若干名

## 主な入学試験日程

試験区分		試験日		合格発表日
AO入試	1次選考	9月23日(木・祝) ※Ⅲ型のみ		9月29日(水)
	2次選考	10月10日(日)		10月16日(土)
公募推薦入試	A日程	11月13日(土)		11月22日(月)
	B日程	11月14日(日)		
	C日程	11月21日(日)		11月27日(土)
一般入試	前期A日程	1月23日(日)		1月31日(月)
	前期B日程	1月24日(月)		
	前期C日程	1月30日(日)		2月5日(土)
	中期日程	2月18日(金)		2月24日(木)
	後期日程	3月10日(木)		3月16日(水)
社会人入試		11月7日(日)		11月13日(土)
3年次編入学	前期日程	10月10日(日)		10月16日(土)
	後期日程	2月11日(金・祝)		2月18日(金)

(注)入学試験成績優秀者には奨学金制度があります。詳しくはお問い合わせください。

## ● 2011年度 畿央大学大学院入学試験概要

募集人員 (人)

課程 (修業年限)	研究分野	定員	試験区分	
			1期	2期
修士課程 (2年)	リハビリテーション・運動行動学、健康栄養学、環境デザイン学、看護学	20	15	5
博士後期課程 (3年)	健康生命科学、健康支援科学	5	3	2

## 入学試験日程

試験区分	試験日	合格発表日
1期	9月23日 (木・祝)	9月29日 (水)
2期	2月11日 (金・祝)	2月18日 (金)

※入学試験成績優秀者には奨学金制度があります。詳しくはお問い合わせください。

## OPEN CAMPUS 2010開催中

6/13(日)・7/17(土)・7/18(日)  
8/21(土)・8/22(日)・9/19(日)  
10/3(日)・10/23(土)・10/24(日)  
12/11(土)

6/13(日)は大学院説明会・個別相談会  
10/3(日)は大学院個別相談会も同時開催!!

日々変わり続ける畿央大学。オープンキャンパスでは、いちばん新しい畿央大学を体感していただくため、毎回さまざまなプログラムを用意してみなさんをお待ちしています。教員や大学生とふれ合う中で、畿央の魅力を感じてください。

## 畿央大学2010年度入試結果

公募推薦入試の志願者数は、昨年増加の反動が出た人間環境デザイン学科で14%の減少となった以外はすべての学科で増加し、全体では24%の増加となりました。深刻な経済不況の影響で看護系、栄養系、教員養成系などの資格志向が強くなったことが、本学の志願者増加の大きな理由と考えられます。最も増加が目立ったのは看護医療学科で、5割近い増加となったため、倍率は大きく上昇しています。また教育学部現代教育学科では、2010年からのコースの改変、英語教員免許の追加など、改革が人気をよんで志願者は増加しました。

一般入試でも推薦入試同様の傾向は続きましたが、こちらは理学療法学科で若干の志願者減少、他の学科はすべて増えています。特に増加が著しかったのは健康栄養学科で、55%増となりました。現代教育学科は推薦と同様の理由で35%の増加となっています。また看護医療学科も2年連続で23%の増加となりました。一方、合格者の入学手続率はさらに高くなり、すべての学科で合格者を絞り込んだ結果、倍率は全学科で上昇しました。また近年は中期、後期になると志願者の減少が顕著でしたが、今年は後期日程でも増加しているのが特徴です。

## 2011年度入試展望

3月末のオープンキャンパスから2011年度入試に向けての取り組みがスタートしました。すでに3月、5月と2回のオープンキャンパスを実施していますが、昨年を約2割上回る参加者数となっています。資格志向が続くと思われるため、畿央大学は今年も注目されそうです。

## 畿央大学大学院2010年度入試結果

4年目となった修士課程の入試では、昨年をやや下回ったものの18名の入学者がありました。本学卒業生の他、社会人の出願が多く、今年も優秀な入学者をむかえることができました。

一方、2年目の博士後期課程は定員を大きく上回る11名の入学者をむかえることができました。

## 2011年度入試展望

5年目をむかえる修士課程に、新たに「看護学分野」が加わります。看護学の分野は、少子化、高齢化、医学・医療の進歩にともなってその領域が拡大し、看護に求められる役割は大きく、より専門的な知識・技術と研究能力が必要となります。本学では、修士課程看護学分野の中に「看護教育学」「看護生理学」「ヒューマンケア学」の3つの領域を開講して、今まで以上に臨床の現場で課題解決型の研究に取り組む専門的業務従事者の養成を目指します。

## 第3回

# 「畿央大学理学療法特別講演会」開催

**畿** 桜会(畿央大学同窓会)主催による、卒業生向けのリカレント教育(大学卒業後も幅広い知識を養う)を目的に、2010年1月23日(土)に第3回『畿央大学理学療法特別講演会』を開催しました。

講師として、大阪電気通信大学医療福祉工学部理学療法学科教授の小柳磨毅(こやなぎまさき)先生をお招きしました。小柳先生は、スポーツ障害のリハビリテーションの専門家で、特に高校野球甲子園大会では舞台裏で故障選手の対処やリハビリテーションを行い、今まで数多くの選手の治療に関わっておられます。

この講演会には、奈良県近傍で活躍されている理学療法士や近隣住民で興味をお持ちの方にも多数のご参加をいただき、理学療法の専門家から一般の方々まで幅広い層の聴講者に対して、分かりやすく説明をしていただきました。

股関節外転筋力、足底内側・外側への開排運動・内転運動による筋力強化などによる体幹機能低下の防ぎ方、弾性包帯やテーピングによる外



反制動・外旋制動の仕方など一部専門用語が出てきましたが、要旨については一般の方にもご理解いただけたようです。約2時間の講演終了後の質疑応答では、一般の方から交通事故で半月板損傷に効果的な運動について質問があり、明快にお答えいただきました。この日は、畿央大学卒業生約70名、在学生約60名、一般約60名、合計190名が参加しました。

充実したリカレント教育のため、畿桜会では、来年も理学療法特別講演会を予定しています。

## 畿央祭『同窓会サロン』

日時▶ 2010年10月23日(土)、24日(日)  
10:00～17:00  
会場▶ 畿央大学  
C棟1階 C106ゼミ室(予定)

昨年の畿央祭で好評だった『同窓会サロン』。137名の卒業生にご来場いただき、懐かしの先生方との再会など、楽しいひと時を過ごしました。もちろん今年も開催します！同窓生の憩いの場として、お茶タイムにご利用ください。懐かしの写真やアルバムも展示します。伝言板には、先生や友達へのメッセージもお預かりします。また、サロンで受付して頂くと特典を用意しています。

## 蘭友会総会を開催

\*蘭友会は桜井女子高等学校・関西中央高等学校の同総会です。

4 月18日(日)に第44回蘭友会総会を関西中央高等学校メモリアルホールにて行いました。

一昨年から卒業生が還暦を迎えられるようになりましたので、蘭友会では、毎年還暦を迎えられた卒業生で総会にご参加いただいた方に記念品をお贈りしてきました。今年も、還暦を迎えられる第3回卒業生の方々19名にご参加いただきました。理事長先生はじめ、職員の方6名、会員からは若い方もたくさん参加いただき、賑やかな総会となりました。

第一部は、蘭友会総会で平成21年度会計報告・22年度予算案を審議し、その後、毎年恒例のアトラクションを行いました。今年も、理事長の冬木智子先生が米寿を迎えられることから「米寿までの歩み」というタイトルのスライドショーを上映し、先生の幼い頃からの成長と教員になられた、そして学園の創立と、今日までの歩みを楽しみ、感動をもって拝見しました。

第二部は、カトレアホールにて懇親会を開催しました。懇親会では、食事をしながら恒例のビンゴゲームなどで大いに楽しみ、また、懐かしい思い出話に華が咲き楽しいひと時を過ごすことができました。



これからも、毎年、還暦の卒業生の方には記念品をお贈りしていきます。また、新しい高校の卒業生も迎え入れ、年齢の開きが大きい同総会となっていくことから、どなたにも楽しんで頂ける蘭友会総会にしていきたくと役員一同で話し合っています。

来年度も多数の皆様のご参加をお待ちしております。

## 理学療法学科同窓会特別講演会(予告)

日時▶2011年1月下旬から2月上旬開催予定

13:30～受付 14:00～16:00

会場▶畿央大学 冬木記念ホール

テーマ▶心疾患を合併した患者に対するリハビリの注意点

講師▶姫路獨協大学医療保健学部理学療法学科教授

泉 唯史 氏

この講演会は、畿央大学理学療法学科卒業生のリカレント教育(卒業後も幅広い知識を養う)を目的として行うものですが、一般の方(主に理学療法を専門とされている方)にも受講いただく予定です。もちろん他学部の卒業生の受講も大歓迎です。卒業生と在学学生は無料です。

健康科学部4期生の進路状況(卒業者数199名)

項目	学科	理学療法	健康栄養	人間環境デザイン	合計
卒業者数(a)		77	73	49	199
就職希望者数(b)		76	61	45	182
就職希望率(b/a)		98.7%	83.6%	91.8%	91.5%
大学院進学者数		0	5	2	7
卒業者数-進学者数(c)		77	68	47	192
<就職決定者数(d)>		76	61	45	182
就職決定率(d/b)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
就職率(d/c)		98.7%	89.7%	95.7%	94.8%

※健康科学部看護医療学科は2012年3月に1期生が卒業します。

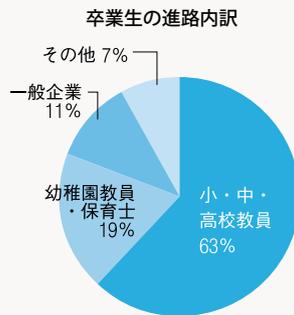
教育学部現代教育学科1期生の進路状況(卒業者数157名)

教育支援 ※保育所を含む	小学校教員	90名
	養護教員	7名
	高校情報教員	1名
	私立小中高教員	1名
	公立幼稚園教員・保育士	17名
福祉関係	私立幼稚園教員・保育士	12名
	障がい者施設	1名
一般企業		17名
	進学(大学院・専門学校)	3名
就職以外の 進路者	講師登録中・次年度受験準備	5名
	その他(自営等)	3名
	合計	157名

※教育支援の教員・保育士には講師・臨時職員を含む

2010年3月に第45回理学療法士、第24回管理栄養士の国家試験が実施されました。本学の4期生は卒業式直前まで試験対策に取り組み、理学療法士は98.7%（全国平均95.4%）、管理栄養士は92.3%（養成課程の全国平均78.7%）の合格率を達成しました。建学の精神である「知をみがく」をみんなが実践し、血の滲むような努力を行った結果です。来年度は一層の対策強化をはかっていきますが、すでに4回生を中心に先輩に続けと、卒業研究と並行して国家試験の準備に入りました。学生のがんばりに応え、来年こそ全員合格を目指して、全面的なバックアップ体制をとって臨みたいと考えています。

国家試験でも実力を発揮！



一方幼稚園・保育所希望者では、公立の施設を希望していた17名のうち15名が、10倍〜20倍の難関を突破。講師や臨時職員、私立幼稚園・保育所の就職も含めると、希望者29名全員が夢を叶えました。

結局、講師も含めた就職者数では小・中・高校教員で99名と卒業生全体の6割以上を、幼稚園教諭・保育士29名を含めた教育支援全体で8割以上を占めています。また一般企業への就職を希望した学生も、全員の就職が決定しました。一般企業も含めた就職率は、大学院進学者を除く卒業者数に対して94%となっています。これは1期生の目的意識の高さと、目的成就に向けて真剣に取り組んだ結果であり、教員・保育士への夢を持って入学した学生の多くが、目標を達成できたことを示しています。

健康科学部4期生の就職決定率は今年も全学科で100%を達成！

健康科学部の各学科では今年も就職希望者の決定率100%を達成しました。一方、今春卒業予定で就職を希望する全国の大学生の2月1日時点での内定率は、前年の同じ時期よりも6ポイント低い80%で、2000年以降で最低となりました（厚生労働省・文部科学省発表）。卒業間近の2月時点で5人に1人が就職先を確保できていなかったことになりました。数字で言えば大学生の卒業予定者56万人のうち、就職希望者は約40万人で、このうち内定者はわずかに32万人だったこととなります。こうした厳しい状況の中、卒業基準を満たしている学生の留年を認める大学も出ています。

本学では、入学したその日から教員によるクラス担任と、キャリアセンターの担当

教育学部1期生は初志貫徹で8割が教員、保育士として就職

2010年3月、教育学部現代教育学科は初めての卒業生を送り出しました。「就職に強い畿央」のもう一つの特長に、教員・保育系の実績が加わりました。1期生の中で小学校の教員を希望していたのは90名余りでしたが、教員採用試験の最終合格者（二次試験合格者）はその内の約4割でした。単純な比較は困難ですが、平成21年度の全国国立教員養成系大学の二次試験合格率の平均が約30%であったことを考えると、大健闘と言えるでしょう。

者が、学生一人一人をきめ細かくサポートしています。また、1回生のキャリア授業は必修単位とし、早くから進路を考える場になっています。さらに、1回生から4回生まで学科別・進路別にキャリアサポート、就職活動支援プログラムを用意しています。キャリア教育の充実が就職に対する学生の意識の高さとなり、就職を希望する学生の比率が90%台と全国平均（約80%）を大きく上回っています。就職希望率が高い（11分母が大きい）にもかかわらず、毎年就職希望者ほとんど全員が就職を実現しています。

## FEP(冬木学園教育推進プロジェクト)企画

冬木学園が持っている物的・人的資源を広く社会に提供する活動の一環として実施するものです。

## ● FEPホール企画

## 「桂文我—おやこ寄席—」

無料、事前申込が必要です

6月26日(土)午後3時30分開演(開場3時)

会場：畿央大学 冬木記念ホール

人気実力ともに定評のある桂文我さんを招いて「おやこ寄席」を開催します。小学生以上のお子様と保護者を対象としての落語会ですが、大人だけでも参加できます。地域の皆さまに日本の伝統芸能である落語に触れていただこうと、冬木学園が実施する社会貢献事業のひとつです。カトリア読者の皆さまもぜひご来場ください。



## ● お申込み方法

お申込み方法は、畿央大学ホームページのイベント情報「おやこ寄席」申込フォーム、もしくはハガキ・ファックスで①大人のお名前(ふりがな)、年齢、②子どもの名前(ふりがな)、小学校名、学年、③住所、④電話番号、⑤E-mailアドレス(大人だけの場合②は不要)を明記のうえ、

〒635-0832 奈良県北葛城郡広陵町馬見中4-2-2 Fax0745-54-1600

畿央大学企画部おやこ寄席係までお申込みください。

詳しくは大学ホームページ [www.kio.ac.jp](http://www.kio.ac.jp) をご覧ください。

## ● おやこ寄席とは？

- 落語は人生経験を積んだ大人が「そうそう、世の中にそんなことがある」と共感しながら想像(創造)して笑う芸能です。
- でも子どもだって、人生経験は少ないながら、共感できる部分はあるはず。それに想像(創造)力は大人よりすごかったりして・・・。
- ということで、大人用の落語をただ言葉遣いを易しくするのではなく、子どもの興味を引く場面をふくらませて子どもたちに笑ってもらおうと、小学生以上を対象に開いている落語会がおやこ寄席なのです。

## ● FEP企画

## 第2回 (予告)

## やまとフォーラム 無料

8月29日(日)

午後1時開会(受付12時30分)

畿央大学の冬木記念ホールおよび講義教室を利用し、基調講演会に続いて1限目7講座、2限目7講座の合計14の公開講座を行う予定で、現在準備中です。

やまとフォーラムは、冬木学園の社会貢献活動の一環として本学園の教員および地域で活躍されている方々に講師として語っていただくことで、学園が地域の文化交流の要となり、その活発化に貢献することをめざしています。全14講座のうち7講座は冬木学園(畿央大学各学科5講座、関西中央高校・付属幼稚園各1講座)、残り7講座は地域の方々に講師をお願いしています。生涯教育の場としても活用していただこうと、いろいろなジャンルから話題を提供します。6月下旬にはホームページにて参加申込の受付を開始します。ご期待ください。



# 学園のホームページを開設

学園各校に加えて、4月より、冬木学園のホームページを開設しました。学園の歴史・沿革、建学の精神、各校の教育目標などを紹介し、事業の概要や財務を公開しています。学園各校のホームページも充実し、それぞれの取り組みを日常的に紹介していきます。今後、卒業生、保護者の皆様への情報発信も一層充実させていきます。是非ご覧ください。

## 受験生サイト(畿央大学)



入試に関する  
お役立ち情報満載

## 畿央大学ホームページ



畿央大学のすべてが  
わかります

## 冬木学園ホームページ



理事長のエッセイも  
掲載しています

## 関西中央高等学校ホームページ



入試や部活動  
ニュース情報は  
こちらをご覧ください

## 受験生応援ブログ(畿央大学)



イベント情報、  
秘受験アドバイスを  
どうぞ

## Kio's Smile Blog(畿央大学)



面白い授業や  
クラブ、就活ナマの  
声を日々アップ

## 畿央大学付属幼稚園ホームページ



行事のあとには、  
その報告を  
お楽しみに

## 編集後記

畿央大学7年目の昨年度、日本高等教育評価機構の外部評価を受け、この3月、無事認定証を受け取ることができました。その評価報告書の中で「建学の精神は、創立以来大学の理念として精神的な支柱となっており、…それを具現化すべく取り組んでいることが強くうかがわれる」と評価して頂きました。しかし自分自身に問いかけた時、目の前のことに追われて理想や夢を忘れがちになる時もありました。しかし今号の特集座談会の中にある「美しいもの、より良いものを求めるのは人間の本能」というようなお話を聞くと、また勇気が湧いてきます。すなわち、自然に、美しく生きていきたいものです。

(F)